



2025年7月14日

各位

会社名 株式会社 ELEMENTS
代表者名 代表取締役社長 長谷川 敬起
(コード番号：5246 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 山田 洋輔
(TEL 03-4530-3002)

2025年11月期第2四半期決算において想定されるご質問への回答について

日頃より、当社にご関心をお寄せ頂き誠にありがとうございます。2025年11月期第2四半期決算において想定されるご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。

1. 2025年11月期第2四半期業績について

Q1：2025年11月期 第2四半期の業績の総括は？

2025年11月期における第2四半期の売上高は974百万円（前年同期比+26%）、EBITDAは148百万円（同▲58百万円）、営業利益は31百万円（同▲99百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は当期純損失▲399百万円（同▲454百万円）となりました。

また、2025年11月期第2四半期累計の売上高は1,690百万円（前年同期比+40%）、EBITDAは239百万円（同+2%）、営業利益は17百万円（同▲130百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は▲450百万円（同▲489百万円）となりました。

Q2：2025年11月期第2四半期の増収要因は？

個人認証ソリューションの売上高が、前年同期比+27%の963百万円と堅調に推移した点が挙げられます。主力のLIQUID eKYCサービス好調に加え、地方自治体向けのデジタルIDウォレットの納品を背景に好調に推移いたしました。

なお、LIQUID eKYC、Polarify eKYCを合算した四半期の認証完了回数は、既存事業者による利用回数の増加の継続および新規導入事業者の増加（前四半期比+24社の592社）により、1,000万回を突破しております。

Q3：2025年11月期第2四半期のEBITDAの減少要因は？

売上総利益率は地方自治体案件の影響により前年同期比で低下したものの77.0%を確保し、売上総利益は前年同期比で+11%増の750百万円で着地しております。

他方、販売費および一般管理費が人員数の継続的な増加に加え、本年3月に買収を完了した株式会社ポラリファイ（以下、「ポラリファイ」と言います）関連費用の影響（73百万円）の影響により、前年同期比で+176百万円（同+32%）の増加となりました。

結果、EBITDAは148百万円と前年同期の206百万円から▲58百万円の減少となりました。なお、ポラリファイ関連費用の影響を除いたEBITDAは221百万円と前年同期比で+15百万円を確保しております。

Q4：EBITDAと営業利益の差分について教えてほしい。

EBITDAは「営業利益+減価償却費（有形・固定・のれん）+株式報酬」で算出されません。

Q5：営業利益と親会社株主に帰属する当期純利益の差分について教えてほしい。

営業利益と当期純利益の差分については、株式会社アドメディカ（以下、「アドメディカ」）に係る減損損失として 659 百万円を計上したことが主な理由となります。詳しくは 2025 年 7 月 14 日に開示した「通期連結業績予想の修正、並びに特別損失に関するお知らせ」をご参照ください。

Q6：アドメディカの減損損失について教えてほしい。

好調な個人認証事業の事業環境等を踏まえた選択と集中の観点から、グループ全体でのリソースの再配分を実施するとともに、アドメディカの位置づけを慎重に精査いたしました。結果、アドメディカについては当初見込んでいた将来収益の実現が困難と判断し、同社に係るのれんおよび顧客関連資産の減損損失を特別損失として計上いたしました。

なお、上述の通り、減損損失は 659 百万円を計上しておりますが、純資産減少額は減損損失から法人税等調整額 135 百万円を控除した 524 百万円となります。また、株主資本への影響額は純資産の減少額から少数株主持分 127 百万円を控除した 396 百万円となります。

2. 2025 年 11 月期通期業績予想について

Q1：2025 年度 11 月期通期業績の見通しは？

変更後の数値は以下のとおりです。

| (単位：百万円) | 前予想 | 修正予想 | (参考) 2024 年 11 月期実績 |
|---------------------|-------------|-------------|------------------------|
| 売上高 | 3,730～3,900 | 3,815～4,000 | 2,545 |
| EBITDA | 黒字予想 | 150～275 | 343 |
| 営業利益 | 赤字予想 | ▲350～▲225 | 57 |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 | 赤字予想 | ▲850～▲725 | ▲132 |

2025 年 11 月期の売上高については、2025 年 4 月 14 日に開示した、3,730 百万円～3,900 百万円の予想から、足許の LIQUID eKYC を中心とした個人認証事業が好調に推移している状況を鑑み、前回計画対比で+2.3%～2.6%の 3,815 百万円～4,000 百万円としております。

EBITDA については、第 3 四半期よりポラリファイの収益の取込が開始されること、また、PMI 費用が継続的に発生する見込みであることを踏まえ、150 百万円～275 百万円と予想しております。他方、営業利益については、▲325 百万円～▲225 百万円の赤字となる見通しとしております。また、アドメディカに係る減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は▲850 百万円～▲725 百万円となる見通しです。

Q2：本件見通しの修正により、中期財務目標に変更はあるか？

2025 年 2 月に開示した中期財務目標について変更はございません。従前通り、2026 年 11 月期においては連結営業利益の再黒字化を計画しております。また、2027 年 11 月期においては、連結売上高 6,000～6,500 百万円（上場後 5 年の年平均成長率で+30%以上）、連結営業利益率 15%、EBITDA25%を目標としております。

以上

【免責事項】

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の売却の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社グループはそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。